

# ブナの森 通信

Beech forest  
news

2022年2月10日発行

vol  
32

発行：ブナの森法律事務所



写真の  
お便り



「しなやかな強靭さに  
心打たれる」

ブナは辛抱強い。枝を精一杯曲げ、大雪の重さに耐える。ここ福井の山々では、12月から4月一杯まで雪が山に降り積もる。雪の重さに耐え、陽光の到来を待つブナの姿は凛々しく、美しい。

2022.1.23

げなんぼ  
(銀杏峰 藤田哲 撮影)

## － 手のあたたかさ －

所長弁護士 / 藤田 哲

### ごあいさつ

Greeting



社会福祉法人の運営している精神障害者施設を見学したことがあった。

デイケアセンターの来所者の中に、ひときわ対応の難しい女性がいた。人を拒否し、大声で叫ぶ。人を叩く。会話も成立しない。こんな大変な人の担当者に、この春から新人のパートの中年女性がつくことになった。そのパートの職員は、女性に叩かれても、叫ばれても、黙って、女性の手をやさしく握って、マッサージをする。女性は手を離して、叩く、叫ぶ。そっと手を握る。また叩く、叫ぶ。そっと手を握る。その繰り返しだ。3か月経ってから、女性は手をさわられても怒らなくなった。表情も穏やかだ。叩いたり、叫んだりすることもなくなった。

パート職員は、特別なトレーニングを受けた人でもなければ、特別な技能や能力を持った人でもない。中途採用のおばさんだ。そのパート職員は、拒否されても、暴れても、ひたすら手をやさしく握って、マッサージをした。それだけで、女性の気持ちが落ち着いた。薬を投与したこともなければ、医者が治療したわけでもない。何とも不思議だ。人間の手の持つ、不思議な力なのだろうか。手のぬくもりは人の心を落ち着かせ、穏やかにする力があるのだろう。

心を開かせるのに、格別の能力や技能は必要ないのだろう。氷を溶かす太陽のように、あたたかい手のぬくもりは、冷えきった心を溶かすのだろう。

私も、手のぬくもりを大切にしたい。